

[第24回] クイズ  チャレンジ!!



琵琶湖文化館の収藏品の中から、あるいは知っているようで知らない文化財のことについて、あれこれクイズにしてみました。さあ、答えがわかるかな？気軽にチャレンジしてみよう！

問題 67



文化館が収蔵する檜時計は、1本の天秤棒てんびんに2つ分銅いっしょうがつく一挺てんぶ天符おもりの和時計です。下部の檜の中に下げられた錘を動力として機械本体の内部にある歯車を動かします。時がくると、なぜかしら懐かしさをにじませた厳かな音を響かせて時を告げます。ところで、「時の記念日」は、天智天皇が漏刻ろうこく（水時計）と鐘鼓しょうこによって初めて時を知らせたという『日本書紀』の記事にもとづき制定されました。滋賀県でも、天智天皇をご祭神とする近江神宮（大津市）では、毎年「時の記念日」に漏刻祭ろうこくが執り行われています。そこで問題です。ズバリ、時の記念日とは「いつ」でしょうか？次の中から答えを選んでください。

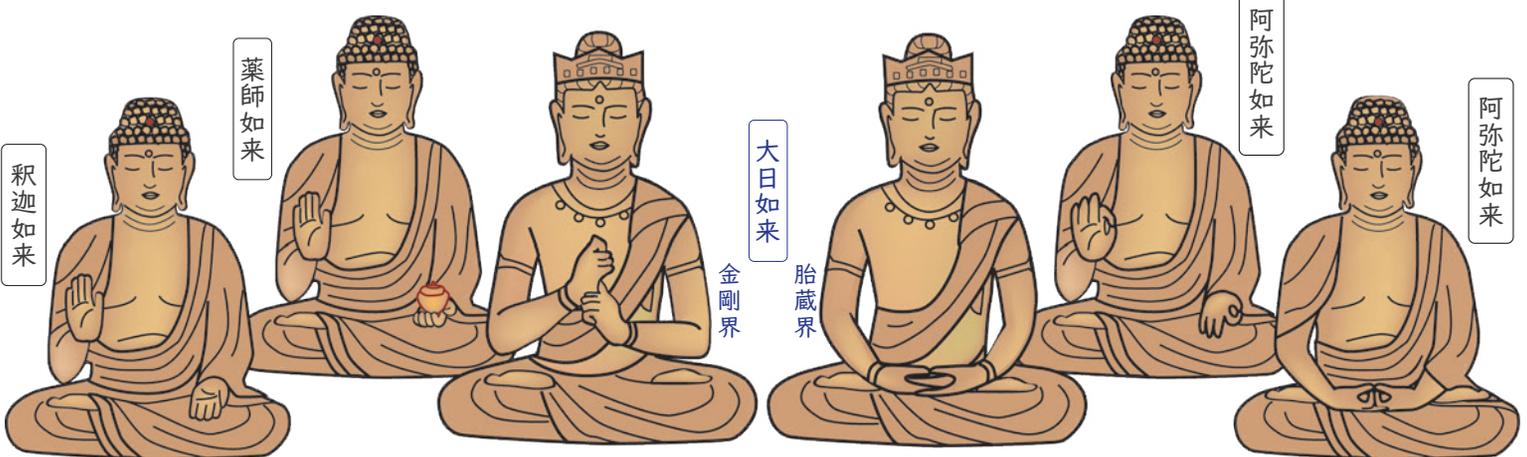


- ① 6月10日
- ② 8月10日
- ③ 10月10日

ヒント：[ 収藏品紹介 < 工芸品 < 檜時計]

問題 68

釈迦如来しゃか、阿弥陀如来あみだ、薬師如来やくし…。クイズチャレンジ - まにあ - では、さまざまな「如来」の特徴を紹介してきました。しかし、忘れてはならない方が、もう御一方いらっしゃいます。大日如来おひとかたです。密教ではすべてのほとけの頂点に君臨する絶対的な存在です。大日如来には、叡智えいちをあらわす「金剛界大日如来」と、慈悲じひをあらわす「胎藏界大日如来」があります。仏像を見ると、どちらの大日如来も、他の如来とは異なる（見分けられる）ポイントがいくつかあります。そのポイントは印相いんそう（手の形）だけではありません。イラストをじっくり見て、その違いを見つけましょう〜♪



滋賀県立 琵琶湖文化館

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜地先
TEL / 077-522-8179 FAX / 077-522-9634
E-mail / biwakobunkakan@yacht.ocn.ne.jp
ウェブサイト / http://www.biwakobunkakan.jp

クイズの答えは、裏面に豆知識と一緒に掲載しています。当館のウェブサイトでは、様々なクイズを随時更新しています。答えのヒントとなる「滋賀県の指定文化財」や「収藏品紹介」などのページもご覧いただけますので是非チェックしてみてくださいね。



[第24回] クイズ チャレンジ!!

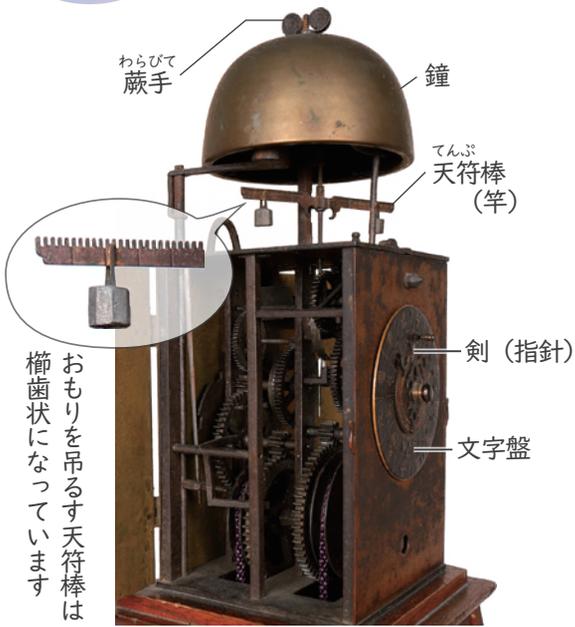


【解答編】

答え 67

時の記念日
正解【① 6月10日】

いっちょうてんぶ
一挺天符では、鐘の下にある
おもり 錘のついた天符棒が振り子の
てんぶぼう ように往復運動をします。
天符棒にはくしぼ 櫛歯状に目盛が刻
んであり、2つの錘の位置を
近づけたり遠ざけたりするこ
とで、速度を調整しました。
これは、当時の時刻が不定時
ほう 法であったため、昼と夜の時
間の長さが異なることから、
人の手で錘の位置を朝夕2回
かけ替えて、運動速度を変え
る工夫がされているのです。



文字盤



文字盤には子・丑・寅…と、十二支の文字が刻まれています。真夜中の子の刻から始めて、昼夜を12の刻にわけています。この檜時計は、中央の時計の針(剣)が動くのではなく、文字盤が動くタイプの和時計です。

さらに詳しく知りたい人はコチラをチェック [🔍 あきつブログ <2021.06.10 付け「檜時計で時を学ぶ」]

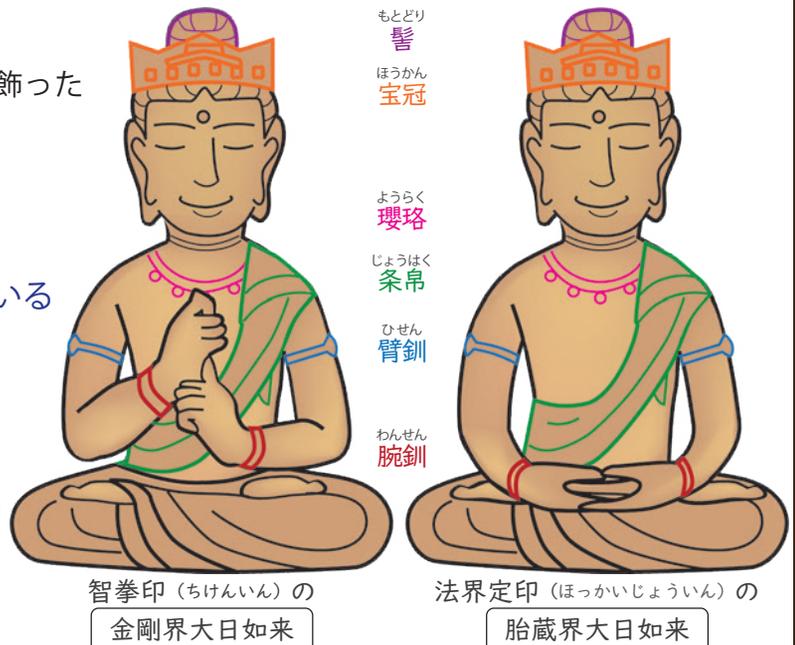
答え 68

正解は・・・

大日如来は、如来の中でも例外的に着飾った姿であらわされます。その特徴は、

- ・髪を高く結び上げている (髻)
- ・上半身は条帛とよばれる襷のような布をかける
- ・宝冠や瓔珞、腕釧などのアクセサリーを付けている

などです。他の如来は、修行をして悟りを開いた釈迦がモデルになっています。一方で、大日如来は、密教の教えの中で最初から絶対的な存在で、宇宙の中心であると考えられました。他の如来が質素な衣であるのに対し、大日如来だけは華やかに着飾った姿であらわされるのも、このあたりにヒミツがありそうです・ね?!



チャット待た!!

上記に書いた大日如来の3つの特徴は、実は「菩薩」と全く同じ姿で、一見すると区別が付きません。ではどう見分けるか…。ここでも印相(手の形)が手がかりとなりますので、覚えておくといいですよ。



滋賀県立 琵琶湖文化館

ウェブサイト / <http://www.biwakobunkakan.jp>

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜地先
TEL / 077-522-8179 FAX / 077-522-9634

E-mail / biwakobunkakan@yacht.ocn.ne.jp